

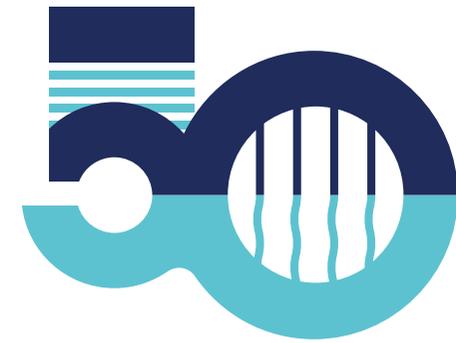
東京商工会議所江東支部
設立50周年記念

ひろがる、つながる
江東区の
チカラ

雑学クイズつき!

挑みつづける、変わらぬ意志で。

 東京商工会議所 江東支部



東京商工会議所
江東支部設立50周年

発行/2023年11月

発行人/鈴木健之

発行所/東京商工会議所江東支部

東京都江東区東陽4-5-18 江東区産業会館2階

制作/株式会社じも研

※本誌掲載内容の無断複写・転載は固くお断りいたします。

なお、本誌は東京商工会議所関係者に配布している冊子ですが、東京商工会議所ホームページよりご自由にご覧いただけます。

東京商工会議所江東支部設立50周年にあたって

あいさつ

東京商工会議所江東支部 会長 鈴木健之



東京商工会議所江東支部は昭和48年4月23日創立され、本年度、50周年を迎えることになりました。創設当時273社であった会員企業が50年の歳月を経て、現在では3300社を超え、中小・小規模事業者に向けた経営支援活動や地域活性化事業を積極的に展開しています。これもひとえに、歴代支部会長や役員・会員の皆様方をはじめ、多くの関係者の皆様に支えられた賜物によるものと心より感謝申し上げます。

さて、江東区はこの50年余りで大きな変化を遂げています。特徴的なのは、臨海部における埋め立てが進み、江東区の面積も年々増加していることであり、これに比

例して人口や従業者数が増加していることです。当記念誌では、江戸文化と深い関わりある江東区の歴史を振り返りつつ、この50年の変化を象徴する臨海部に存在するインフラ施設や事業所をご紹介します。首都圏の安全や安心、経済発展を支える事業所が、江東区内に数多く存在することを江東支部に関わる多くの皆様に改めて知って頂き、新たな江東区の魅力に触れていただければ幸いです。

会員の皆様をはじめ、江東支部に関わる全ての皆様におかれましては、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

祝辞

東京商工会議所会頭 小林 健



江東支部の設立50周年を、心よりお祝い申し上げます。江東支部は、1973年4月に設立されて以来、中小企業の経営支援や地域経済活性化などの事業を通じて、経済社会の発展をけん引してこられました。

鈴木会長をはじめ、これまで支部運営に携わって頂いた多くの皆様に深く敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

江東区は、住宅、事業所環境もこの50年で大きな変化を遂げ、江戸情緒を残す歴史的な街並と発展を続ける臨

海部が融合した魅力的な街になっています。

江東支部では、この間、産業振興政策に関する要望等を通じて、数多くの事業者向け支援策を実現してこられました。

また、隅田川と荒川には生まれ水害リスクが高いことを背景に、「BCPガイドブック」を発行するなど職住接近の地域特性に合わせた活動を推進されてきました。

2024年春には、初代会頭および旧深川区の初代区

議会議長も務めた渋沢栄一翁の旧渋沢邸が、江東区潮見に移築、公開予定となっております。地域の賑わいにも寄与することと存じます。

渋沢翁の「私益と公益の両立」という理念は今も東京商工会議所の「会員企業の繁栄」首都・東京の発展」わが国経済社会の発展」というベクトルに沿ったミッションとして引き継がれており、このミッションを果たすべ

く本部・23支部が一丸となって活動を展開しております。

江東支部におかれましては、この50周年という大きな節目を機に、鈴木会長のリーダーシップのもと、支部役員や関係各位がより一層強く団結し、地域の活性化や事業者への経営支援の担い手として、益々ご活躍されることを祈念いたしまして、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



東京商工会議所
江東支部設立50周年

江東区は縦横に水路が巡り、多くの橋が架かるまち。私たち(江東支部)は、さまざまな人や文化、産業、そして、よりよい未来への「架け橋」でありたい。



豊洲市場



東京ビッグサイト



海の森公園



お台場SKYツーリストインフォメーション



豊かな暮らしと都市インフラを支えるまちへ！ ひろがる、つながる 江東区のチカラ

contents

- テーマ別に
区内施設や事業所のチカラをご紹介します!
- まちを **知る** ● 歴史・伝統 P.08
- まちを **つくる** ● 工業 P.10
- まちを **守る** ● 防災・環境保全 P.12
- まちを **つなぐ** ● 交通・物流 P.19
- まちを **育む** ● 情報・教育 P.28

- 東京商工会議所
江東支部設立50周年にあたって
- ごあいさつ P.02
- 50年のあゆみ P.33
- 江東支部を支える方々 P.36



砂町水再生センター



東京ゲートブリッジ

江東区について

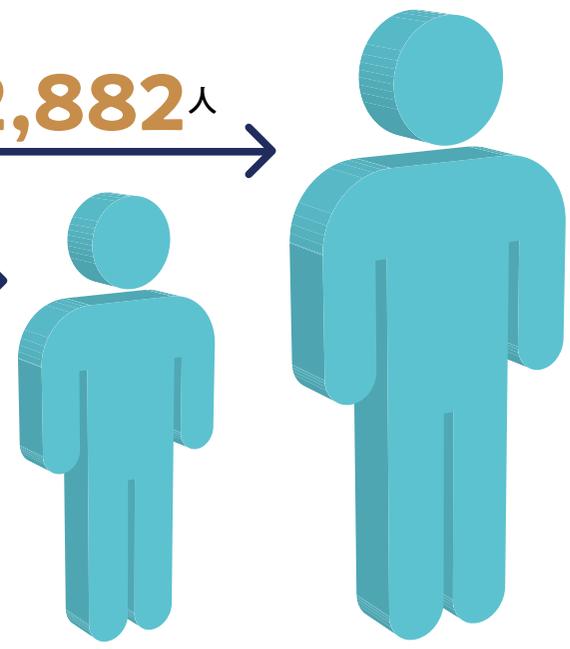
江東区は1947(昭和22)年3月に、それまでの深川区と城東区(亀戸町・大島町・砂町)が合併して誕生しました。その後、東京湾臨海部の埋め立てが進み、2023年6月1日現在の面積は43.01km²。大田区、品川区、港区、中央区、墨田区、江戸川区に隣接しています。東京駅から江東区役所(江東区東陽4-11-28)は直線距離で約4.5km、羽田国際空港から約13.7km。広域交通としては、東西に走るJR総武線、都営新宿線・大江戸線、半蔵門線、東西線、有楽町線、ゆりかもめ、JR京葉線に加え、2030年代には臨海部(豊洲)から中央部(住吉)を南北につなぐ有楽町線が延伸される予定です。

人口増加数は
50年で1.5倍

江東区の人口

2023年1月1日 **532,882**人

1973年1月1日
352,307人



2022(令和4)年中の人口増減数は6,930人増で、東京都の区市町村別の人口増減数では江東区が最上位。次いで豊島区(5,362人増)、新宿区(5,057人増)、港区(4,432人増)でした。
出典：東京都「人口の動き(令和4年)」

現在の「江東区」が誕生したのは戦後の1947(昭和22)年。深川・城東地区には戦地からの復興、引き上げ者受け入れのための都営住宅が次々と建設され、商店やスーパー、娯楽施設も増加。昭和40年代に入ると大規模な工場や木場の移転により、区内の産業構造にも変化が表れまし

た。一方、区民にとって当時の一大事は、埋立地におけるごみ問題。東京のごみ投棄場として毎日63000トンのごみが山積みされていた14号地(夢の島)は「ごみの島」と呼ばれるほど、悪臭、ガスによる自然発火、ハエの大量発生などの問題が深刻化。清掃工場建設の進展がない杉並

**ごみ戦争で一致団結。
東京のあるべき姿を考え
快適なまちづくりへ**

**50年前と今の
変化を見てみよう**

埋め立てが進んで
面積も1.5倍

ご存じのとおり、江東区は干拓や埋め立てにより地域が発展しています。江戸時代初期から始まった土地の埋め立ては今なお続いており、区的面積は年々増加。2023年6月現在で43・01キロ平方メートルとなり、23区中6番目の大きさです。



現在

高度経済成長期の頃

1970(昭和45)年 **28.88**km²

2023(令和5)年 **43.01**km²

※地図は、「江東区まちの記憶と未来展」等の資料を参考に作成したイメージです。

区のごみ投棄に対し、江東区は区民と一体となり実力阻止を強行するという反対運動にまで発展したのです。

このことは、東京のごみ問題や環境問題に対する都民の関心を呼び覚ますと同時に、都のビッグプロジェクト「臨海副都心」のまちづくりにおいて最優先で取り組むべき課題となったに違いありません。

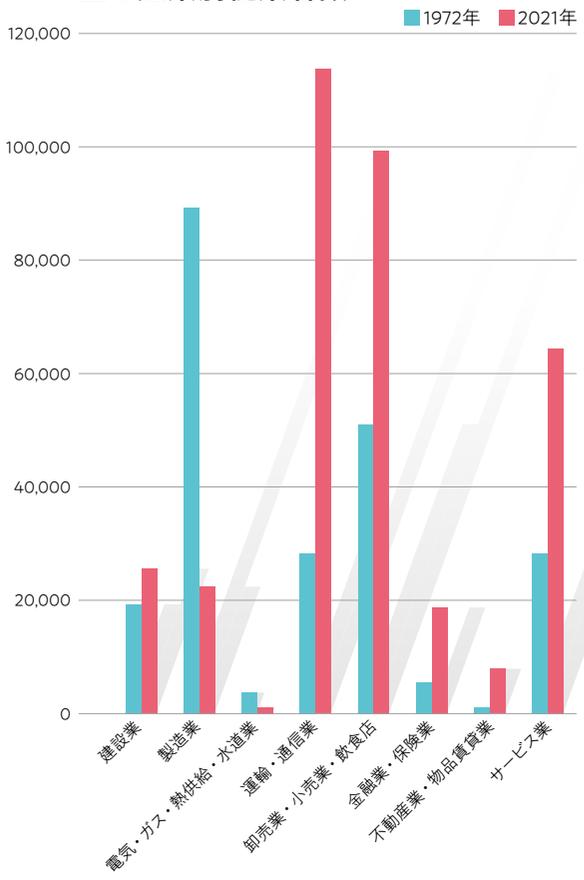
次ページからは、安全・安心、快適なまちづくりを支える区内の施設や事業所をご紹介します。ちよっぴり役立つ雑学クイズと合わせてお楽しみください。

水や緑のある空間と職・住・学・遊の機能が複合した臨海副都心の就業人口は52,000人、居住人口は18,750人に上ります(2021年 東京都港湾局HP)。



1956(昭和31)年当時の工場群(資料提供:江東区広報広聴課)

主な産業別従業者数



江東区の事業所数は19,443で、従業者数は395,707人(2021年)。約50年前に全体の約4割を占めていた製造業の従業者数は、工場の地方・海外移転が進むにつれ減少。運輸(44,454人)、通信(68,522人)、卸売(83,609人)などの産業で大きな伸びをみせています。

※グラフは、平成18年「事業所・企業統計調査」江東区、産業大分類別事業所数及び従業者数(昭和41年~平成13年)、および令和3年経済センサス-活動調査-事業所に関する集計の一部を加工して引用。



1909(明治42)年に行われた例大祭の様子。御本社神輿の渡御と町神輿の連合渡御が行われました。

6年ぶりに開催された2023年の本祭りは、およそ30万人の担ぎ手と観衆が一体となって盛り上がりました。下の写真は、八幡さまが氏子各町を渡御する際に乗る御風轎。



富岡八幡宮

江東区富岡1-20-3



皆で輪を背負い
まちが一体となる
深川八幡祭り

「ワッショイ」の掛け声と水かけで親しまれる、深川八幡祭りの発端は江戸時代。徳川家綱の誕生を祝う神事が所以で、本社神輿の渡御は1643年に始まり、3年に一度の本祭りでは、八幡宮の神様が乗られた御風轎が渡御する神幸祭が行われ、そのお礼として大小の町神輿が総出する神輿渡御が華を飾ります。中でも大神輿53基による連合渡御は圧巻。「わっしょい」の掛け声に、輪(和)を背負うというまちの団結と平和を願う力が込められます。



「深川の八幡さま」と親しまれている富岡八幡宮の創立は1627年。永代島と呼ばれていた小島の周辺を埋め立てて社地と氏子の居住地を開き、多くの信仰を集めるようになりました。

雑学クイズ

2 深川八幡祭りが
発祥と伝わる神輿行事は?

←こたえは32ページ

亀戸 香取神社

江東区亀戸3-57-22



創立は飛鳥時代
まちの歴史と
文化を紡ぐ鎮守様



家内安全や健康祈願はもちろん、「スポーツ振興の神さま」として多くの武道家やスポーツ選手が必勝祈願に訪れます。



亀戸香取神社の創立は665年。藤原鎌足が東国下向の際、この地に船を寄せ、旅の安全を祈ったのが創立の起因と言われています。平安時代には、ここに参籠した藤原秀郷が平将門の乱を平定。お礼に弓矢を奉納したという古事にちなみ、毎年5月5日に行われているのが「勝矢祭武者行列」。1860年代、この辺りで始まった大根づくりは昭和初期まで続き、「亀戸大根」として庶民の食卓を飾りました。

雑学クイズ

1 亀戸 香取神社の恒例行事
勝矢祭武者行列の出発地は?

←こたえは32ページ



武者行列の最後は、境内で大将が宮司に矢を渡す「勝矢奉獻の儀」が行われます。境内には亀戸七福神めぐりでも親しまれている恵比寿さまと大国さまも祀られています。





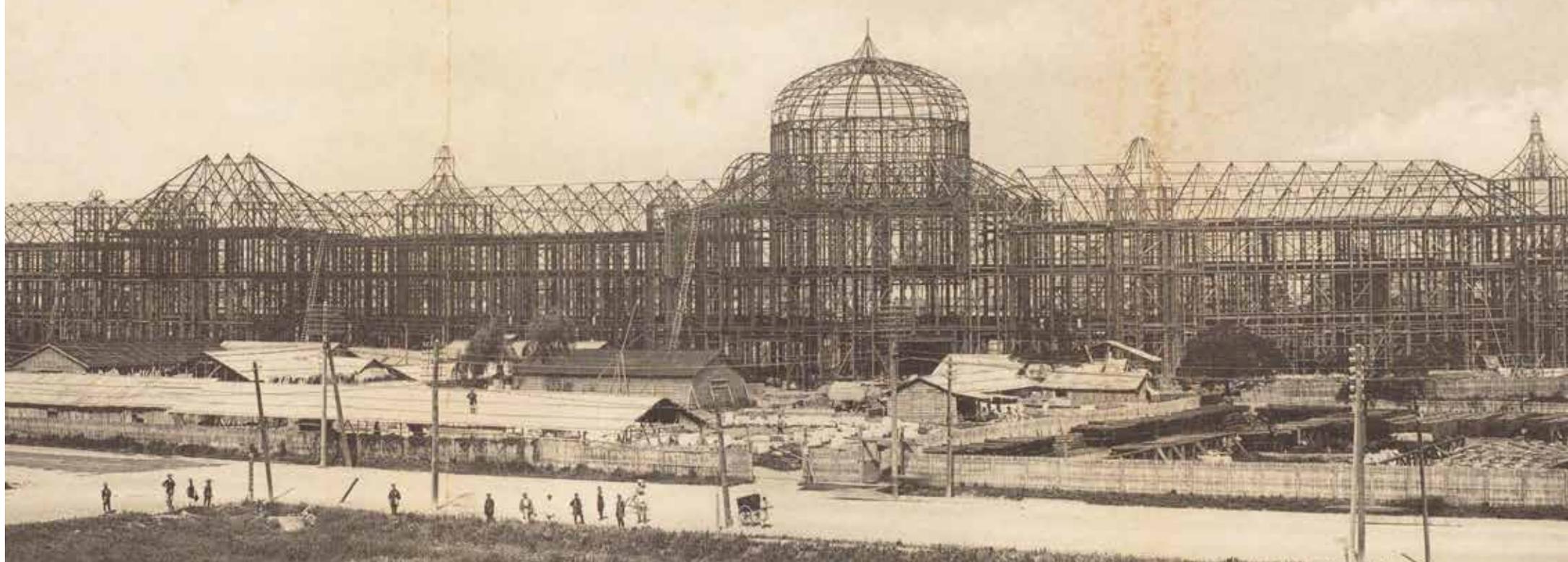
1958年頃の造船工場（現・豊洲2丁目）。上に見えるのが春海橋（写真上）。東京湾を望むドックヤードからは時代の先端をいく艦船が次々と送り出されてきました。下は1958年に行われた元栄丸の進水式。

雑学クイズ

3 東京駅の鉄骨工事、工期短縮のためにIHIが使った重機は？

←こたえは32ページ

IHIは、ガスタービンでアンモニア100%燃焼によるCO2フリー発電を実証するなど、アンモニアバリューチェーンプロジェクトを推進中。2050年カーボンニュートラル実現へ向け大きな期待が寄せられています。写真は石炭・アンモニア混焼による発電実証を行なっているJERAの碧南火力発電所。写真提供:株式会社JERA



「東京停車場本屋鐵骨組立工事完成ノ全景」 出典：国立国会図書館デジタルコレクション「東京市街高架鉄道建築概要」鉄道院東京改良事務所（1914）

工場を新設。太平洋戦争、戦後の造船ブームを背景に幾多の船を送り出し、1960年に石川島播磨重工業（当時）として事業を拡大。電気溶接やガスタービン、ジェットエンジンなどの技術開発にも力を注ぎ、ものづくりの総合力を極めていきました。それから時代は移り変わり、造船のまちは商業・住宅と自然が調和した魅力あふれる都市空間に生まれ変わりました。その巨大プロジェクトの中核をなしたIHI。「技術の力で国を発展させる」という創立者・平野富二の志を大切に、今もさまざまな課題と向き合い、持続可能な社会の実現を目指しています。

IHIの前身である石川島造船所が石川島（現・中央区佃島）で操業を開始したのは、1853年。欧米列強に肩を並べた造船技術は、東京停車場（現・東京駅）や東京タワーの建造にも力を発揮し、日本の近代化と産業の発展に大きな影響をもたらしました。そして1939年、東京石川島造船所（当時）は誕生間もない豊洲の地に広大な造船

ものづくりの技術を極める 未来をつくる

アーバンドック ららぽーと豊洲内にある「ドック広場」。船をモチーフにした建物や産業遺構を生かした親水空間として人気のスポット。



株式会社 IHI
江東区豊洲3-1-1 豊洲IHIビル



東京消防庁装備部航空隊
江東航空センター

江東区新木場4-7-25
(東京ヘリポート内)



首都の安全を
空から守る
エキスパート集団



訓練後、ヘリコプターから基地へ帰隊する隊員たち。水難救助、大規模災害などを想定した実践的な訓練を平時から重ねながら、災害現場へのヘリコプター出場回数は年間400以上と多忙を極めます。



安全、確実、迅速な活動を行うには、パイロット、整備士、地上部隊との連携が欠かせません。訓練前には訓練内容や注意点、危険要因などについて全員でブリーフィング(打ち合わせ)。上空からは「塵一つ落とさない」という危機管理意識をもち、隊員同士で徹底した安全確認を行います。

陸上からの救助活動が困難な場所での災害時には、ヘリコプターから降下して人命救助を行います。写真は「東京国際消防防災展2023」で公開された救助演技と消防ヘリ。



雑学クイズ

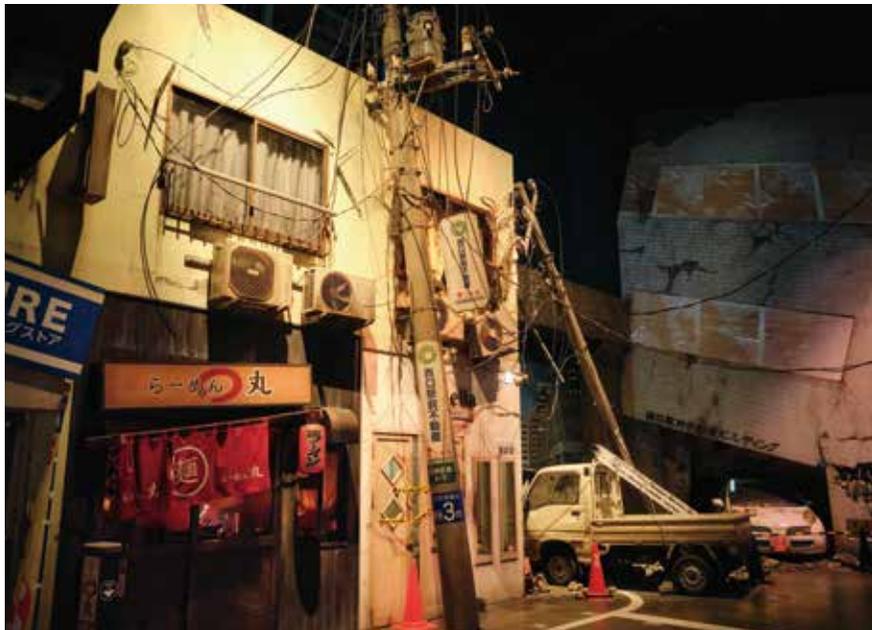
4
エアハイパーレスキューの隊員は都内に何人？

←こたえは32ページ

東京消防庁が全国に先駆け「エアハイパーレスキュー」と、航空消防救助機動部隊を発隊させたのは2016年。その使命は、いかなる災害に対しても迅速で的確な消防活動を遂行すること。首都直下地震やテロ、超高層ビル火災、孤立地域といった地上からの消火・救助・救急活動が困難な災害現場へヘリコプターで急行。空から人命救助を行う航空消防の専門部隊です。

かくして、エアハイパーレスキューの隊員には消防署での実務経験はもちろん、高度な救助技術や救急救命士の資格が求められるとか。さらに新木場(江東航空センター)と立川(多摩航空センター)に配備されている計8機のヘリコプターを自在に操り、特殊な訓練と努力を重ねる姿は強さと品格、団結力を兼ね備え、炎に挑む騎士のよう。

そんなエアハイパーレスキューの出場は、年間400回以上。きょうも「世界一、安全安心な東京」を目指し、江東区の上空から人命救助に向かっているかもしれません。



「東京直下72hTOUR」では、余震が発生する商店街から避難所までの移動を疑似体験できます。

そなエリア東京

江東区有明3-8-35



首都直下地震を
生き抜くための
ヒントがたくさん



ツアーのゴール地点では避難所を再現した展示が迎えます。避難所での過ごし方やコツなどが学べます。

大規模災害発生時のヘッドクォーターとして整備された「東京臨海広域防災公園」。敷地内にある「そなエリア東京」は防災をアトラクション感覚で学べる稀有な施設です。首都直下地震発生直後の街を再現したジオラマの中で、クイズに答えながら避難する「東京直下72hTOUR」は災害を自分ごととして実感しつつ、防災知識が身に付くとして学校の授業や企業の研修に活用されるように。今や年間約30万人が訪れる防災の発信拠点となっています。



上の写真は災害時に現地の対策本部の拠点となるオペレーションルーム。公園にはヘリポート、消防車や自衛隊の車輛が乗り入れできる道路のほか、バーベキュー広場もあります。



2階の「防災学習コーナー」では、多様な人の個性やニーズに添った防災知識を紹介。「視力が弱い」「車いすを利用している」などの具体例とともに、適した備えの方法が展示されています。

雑学クイズ

6 「そなエリア東京」がロケ地の怪獣映画は？

←こたえは32ページ



泳力を磨いた潜水士等の資格を持つ隊員のみが担う水難救助。平時から水中捜索などの訓練を重ねています。

勝利のためにチームが一丸となり、体を張る。究極のスポーツ。アメリカンフットボール。そんなアメフトの日本社会人リーグ「Xリーグ」に所属する警視庁アメフト部が発足したのは1971年であり、拠点は1969年に編成された第九機動隊です。部隊は治安警備だけでなく、専門知識や資格が必要とされる水難救助部隊や爆発物処理部隊を擁します。九機の団結は首都・東京とフィールドで輝いています。



「Xリーグでも活躍
首都の治安を守る
疾風の九機」

警視庁第九機動隊

江東区新砂1-7-20



チームのシンボルマークは大空高く飛ばたく若鷲で、口に咥えた月桂樹は勝利を表しています。

雑学クイズ

5 第九機動隊アメフト部のチーム名は？

←こたえは32ページ



海の森公園

中央防波堤内側埋立地の東側部分



都民とともに育んだ 緑の楽園が遂に姿を現す！



植樹には市民ボランティアのほか、CSR活動の一環としてプロジェクトに賛同する企業の社員も多数参加しました。世代や立場を超えた協働は、大人も子どもも環境や自然、社会との関わりを学ぶ貴重な機会に。16年の歳月をかけて培った自然は、都心のヒートアイランド現象の緩和にも一役かっています。写真提供:東京都港湾局



海の森水上競技場はボートやカヌーといった水上スポーツの競技会場としてはもちろん、ヨガやウォーキングなど屋外イベントの会場としても開放されます(写真上・右)。

雑学クイズ

7
海の森の埋め立てに使われた、
ゴミ以外の資源は？

←こたえは32ページ

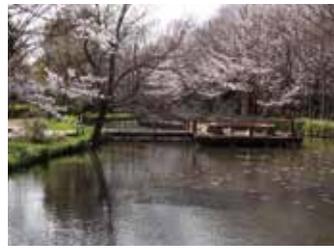


ゴミの最終処分場であった
広大な埋め立て地を再生させ
る「海の森プロジェクト」が
立ち上がったのは2005年。
学識者や都民が参加する東
京都港湾審議会において描か
れた構想は、資本を投下して
華美な施設を建てるのではな
く、豊かな自然を、都民にと
もに、東京に取り戻す計画で
した。

その社会的な意義に賛同する
都民や企業は徐々に増加。プ
ロジェクトは大きなうねりに
なっていました。

2011年には苗木購入の
ための募金額が5億円に到達
し、その5年後に植樹が完了。
かつてのゴミの山は、緑あふ
れる東京のオアシスへと変貌
を遂げます。散歩や自然観察
バーベキュー、音楽イベント
など、その活用方法は無限で
す。

敷地面積は約58ヘクタール。
江東区一の広さと豊かな自然
を誇る海浜公園が一般に開放
されるのは2025年春です。



東京湾に面する広大な敷地(写真右)。センター内では「おひさま広場」(上)をはじめ、約200種、80,000本の樹木・草木を楽しめます(センター施設は見学可能/予約制。TEL:03-3241-0944)。「南砂雨水調整池」(下)は、降雨時の浸水被害を軽減します。

まちを守る●防災・環境保全
まちをつなぐ●交通・物流



主橋梁は鋼3径間連続トラス・ボックス複合構造により、大型船舶が航行できる桁下の高さ、上空を飛ぶ飛行機の空域制限をクリア。夕暮れ時には特殊な構造のシルエットがいつそう際立ちます。

壮大な景色も楽しめる 東京湾のスムーズな 物流を支える巨大橋

東京ゲートブリッジ
江東区海の森3丁目地先
中央防波堤外側埋立地内



雑学クイズ

9 その形状から
唱えられる
ゲートブリッジの
通称は？

←こたえは32ページ

新木場交差点から南へ約3キロメートル。若洲から東京東航路を横断し、中央防波堤外側埋立地へとつながる東京ゲートブリッジ。年々増加する東京港周辺の物流車両をスムーズに通行させ、混雑緩和と首都圏や近郊とのアクセス向上につなげています。

全長2618メートルの橋の歩道は、東京タワーに東京スカイツリー、富士山まで見渡せる絶景スポットです。月毎に色が変わるライトアップも要チェック！

1930年に稼働した砂町水再生センターは、東京で2番目に古い水再生センター。敷地面積は約82・7ヘクタールで、江東区と墨田区の全部、中央・港・品川区などの一部からなる広大な区域(23区の約10%)から発生する下水を処理しています。

家庭や工場から排出された汚水をきれいに処理して川や海へ放流する水再生センターは、下水道の最後の砦。今日も快適な都市生活を支えています。

敷地面積は 東京ドーム20個分！ 下水処理の立役者

砂町水再生センター
江東区新砂 3-9-1



雑学クイズ

8 砂町水再生センターのシンボル“赤白煙突”の高さは？

汚泥焼却後の排ガスを放出するために建造された煙突は、老朽化により、その役目を終えました。2023年には解体現場見学ツアーを通じ、その功績が讃えられました。

←こたえは32ページ



100%完璧主義！ 東西線の安全を支える 守護神たち



検修中の東西線車両。「快速深川工場」という行先表示は、2023年初夏に実施したイベントのために跳えたもの。来場者を楽しませるための心遣いを感じられます。



深川車両基地で最も大がかりな作業が車両本体と台車を分離する“台抜き”。車両を専用クレーンで持ち上げて台車を外し(写真上)、細かいパーツに分解してから検査・修繕を行います。車両の下に潜り込んでの打音検査(写真中央)、車輪のチェック(写真下)など、いずれも社員の経験がものをいう作業です。



地域との交流と東京メトロファンの獲得のために開催するイベントは鉄道ファンにとって垂涎の催しです。

雑学クイズ

10 両の東西線車両
1編成の定期検査に
かかる日数は？

←こたえは32ページ



深川車両基地の総敷地面積は約8.2ha。車両の検修計画や工程管理、在庫管理など担う「深川車両管理所」、車両を分解して部品ごとに検査・修繕を実施する「深川工場」、通電状態で検査・修繕を行う「深川検車区」の3部門で構成されています。

用する東西線開業は1964年。50年以上、大動脈の安全を支えています。

例えば、点検ハンマーでボルトを叩き、金属音のわずかな異常からゆるみを見つけ出す打音検査は、必ず熟練の社員がダブルチェック、少しの歪みも見逃しません。今や1日約115万人が利用する東西線開業は1964年。50年以上、大動脈の安全を支えています。

深川車両基地は東京メトロが運行する東西線・52編成の車両の保守とメンテナンスを行う施設。約8万2260平方メートルの広大な敷地内には、普段から私たちが利用している05系・07系・15000系の車両が並びます。車両基地は、車両清掃や消耗品などの点検整備を行う「深川検車区」と、車体を細部まで分解して総点検・メンテナンスを行う「深川工場」を併設。構内は、長年にわたって培った高い技術力をもとに、鉄道車両と向き合う社員たちの緊張感に満ちています。

東京初の水陸両用バス「スカイダック」が運航を開始したのは2017年。街をテーマパークのように楽しめるバスを探し求めた日の丸自動車興業が、アメリカから取り寄せて、運行にこぎ着けました。

いつもの街並みを新鮮に映す 東京初の水陸両用バス



お台場から豊洲や新市場を巡り有明まで足を延ばすコース。最大の見どころは東京湾からレインボーブリッジを望むポイントです。海や運河など豊かな水辺環境に恵まれた東京湾岸エリアならではのエンターテインメントです。



豊洲駅と新豊洲駅の間地点にある入水スロープから東雲運河へダイブ。乗客のみならず陸から眺める人も歓声を上げる様子はまちの風物詩となっています。

お台場SKYツーリスト インフォメーション

江東区青海 1-2-1



雑学クイズ

12 スカイダックを
運転するのに
必要な免許は？

←こたえは32ページ



東京港から就航するカーフェリーはオーシャントランスが運行。早朝に東京港を出航し、翌日の昼過ぎに徳島に寄港、翌々日の早朝に北九州に到着します。上りの便は、その逆の行程で東京港へ入港。着岸したフェリーはロープで岸に固定され、次の運行に向けた準備が始まります。

東京港 フェリーターミナル

江東区有明4-8-6



旅客から鉄道車両まで。海上輸送に欠かせない東京港の不夜城。

雑学クイズ

11 東京港フェリーターミナルから
出航する車両の年間台数は？

←こたえは32ページ

東京港フェリー埠頭の突端に位置する東京港フェリーターミナルが活況を呈するのは夕方。主にトレーラーで運び入れた膨大な貨物車両がフェリーに積み込まれます。そして乗用車、二輪車、旅客を迎え入れると、出航を迎えるのです。



フェリーは6階建て。貨物車駐車場(写真上)は1~3階にあり、水面下に位置します。6階には安全な運行を司る操舵室。高級感のある客室フロアには、オーシャンビューの個室やベットと一緒に過ごせるお部屋もあります。





市場の朝は早く、マグロのセリが始まるのは早朝5時半(写真右)。上に映るのは市場を忙しく駆ける搬送車・ターレ。閉鎖型の豊洲市場を走るターレは全車が電動式で排気ガスを出すことはありません。良い食材を良い状態で消費者へ届けるために心血が注がれています(写真左)。



野菜や果物を扱う青果棟も豊洲市場を語るうえで欠かせない存在(写真上)。天気の良い日には富士山を望むことができる屋上緑化広場はヒートアイランド対策に一役買っています(写真右)。



仲卸売場にはない食材や道具等を扱う店舗が並ぶ「魚がし横丁」は水産仲卸売場棟の4階。職人が包丁を研ぐ姿を見かけることもあります。

雑学クイズ

13 豊洲市場の年間売上高は？

←こたえは32ページ



場内の飲食店は管理施設棟に13店舗、水産仲卸売場棟に22店舗、青果棟に4店舗。



全国の生産者と消費者をつなぐ 天下の台所

豊洲市場

江東区豊洲 6-6-1



東京都中央卸売市場のうち最も古くからその歴史を築いてきた築地市場が豊洲へ移転したのは、2018年のこと。敷地面積約40ヘクタールの豊洲市場には近代的な施設が立ち並び、築地市場とは大きく姿を変えました。

施設は閉鎖型にして、緻密な温度・衛生管理をかなえる全域空調の「コールドチェイン」を実現。適切な温度管理は、食材の鮮度を保つだけでなく、市場で働く人々の快適さにも貢献しています。また、

トラックと施設が隙間なく密着できる搬出入口「ドックシエルター」は、より高度な防虫・防塵、保冷ができる仕組みに。こうした先端テクノロジーの導入こそが、豊洲市場の真価であり、集まる食材は、鮮度を保ちながら、全国へ流通します。

日本各地の生産者と消費者を安全・安心な食でつなぐ豊洲市場の敷地は築地市場の1.7倍。毎日約1200トンの魚が運び込まれる市場では、今日もトラックとターレが行き交い、セリ場には威勢の良い声が響いています。



江戸に端を発する 「木場」の継承者は 文化を育み続ける



明治18年頃の木場町の貯木場の様子。水辺に浮かべた材木に乗り、材木を操る「川並」と呼ばれた職人の姿が見られる。 出典:「目で見える江東区の100年」



市場で働く方々は、木材を知り尽くすベテラン揃い。木材を担ぐ姿ひとつとっても、江戸時代のそれと重なるのは、場所が変わろうとも商いの本質が変わっていないからこそです。



市場内での見学会、教育機関へ出向いての木工教室など、木材の美しさや有用性を直に伝える活動にも積極的です。倉庫では、比較的廉価な木材から、銘木と呼ばれる高価なブランド材まで幅広く提供。銘木は高級飲食店のカウンターや、歌舞伎座の檜舞台に欠かせない良質な木材として評価されています。



まちをつなぐ交通物流

雑学クイズ

14
江戸時代に栄えた
木場の貯木場は
今、何になっている？

←こたえは32ページ



木材は横積みされるだけでなく、壁面に立てかけることで効率よく保管されています。トラックが悠々と通れるほどの出入り口、天井高は木材倉庫ならではの(写真上)。多様な品種・産地を扱う木材市場では、その個性と魅力を知ってもらうため、消費者に近い大工さんや工務店さんが木材に触れることができる機会も設けています。



合う必要がある。東京木材市場は、今また新木場で新たな素地を固めています。

江戸市中に近く、水運の便が良いなどの理由から、材木置き場として江戸の発展を支えた深川・木場。その後、明治維新の動乱、第一次世界大戦後の大不況といった幾多の苦境を乗り越えた材木商たちは、1919年に東京木材市場を創設。定休日の設置や複数の問屋が卸売販売を行う「複式市売」の確立など、新たな道を切り開いてきました。

地盤沈下や交通渋滞、騒音などを理由に、木場の14号埋立地への移転が始まったのは昭和40年代後半。「売りやすく、買いやすい」新たな市場を目指した東京木材市場は、新木場での記念イベントや木材まつりなどを実施。一般消費者へも木材流通基地「新木場」の存在を広くPRして、活力と賑わいのある市場づくりに取り組んできました。

新木場市場での営業開始から40年余り。住宅部材や流通構造の変化などを背景に、今木材市場を取り巻く環境は厳しさを増しています。そうした状況下において木の文化を育み、市場を盛り上げていくには関連業者が強固に協力し

東京ビッグサイトの外壁が「東京国際プロジェクトマッピングアワード」の会場に。
 写真は2022年の最優秀作品
 ※チーム名:photons(日本工学院八王子専門学校) タイトル:Ride It Out



開催催事数、来場者数、展示面積のいずれをとっても日本一の東京ビッグサイト(東京国際展示場)が姿を現したのは1996年のこと。
 多様な展示会を通して国内外の産業振興に寄与しているのはもちろんのこと、時にはプロジェクトマッピングの舞台に。そして、敷地内にはパブリックアートを配することで東京ビッグサイトは臨海副都心エリアの賑わい創出に貢献しています。

日本一の展示会場は臨海エリアの賑わいを担う

東京ビッグサイト(東京国際展示場)

江東区有明3-11-1



雑学クイズ

16 東京ビッグサイトへの年間来場者人数は?

←こたえは32ページ



展示施設のほか、24の会議施設を備える国際会議場(写真左)の収容人数は1,000人を誇ります。16ホールで構成されるビッグサイトの総展示面積は115,420㎡。この面積数は日本一であり、ビッグサイトはまさに日本を代表するコンベンションセンターなのです。



中小企業の発展を技術で支える頼もしい相談相手

ゆりかもめ・テレコムセンター駅前、最新鋭の研究施設を備えた東京都立産業技術研究センター(都産技研)。その始まりは1921年、都内商工業者の発展を願った渋沢栄一氏によるものでした。
 以来、中小企業振興のため、幅広い技術と成果で技術支援をしています。製品の「安全・安心」に係る強度試験なども実施が可能です。相談は予約不要。「すぐ相談」できる頼もしい存在です。



上の写真は都産技研ブランド試験「音響試験」で使用する「無響室」。都産技研では、「音」の技術分野も総合的に支援しています。公式サイトでは、都産技研の多種多様な支援サービスや活用事例などの情報を配信。製造業から小売業、サービス業に至るまでジャンルを問わずさまざまな相談に応じています。また、技術相談は無料(タダ)です!

東京都立産業技術研究センター

江東区青海 2-4-10



雑学クイズ

15 都産技研マスコットキャラクターの名前は?

←こたえは32ページ

タテのカギ

- 都産技研の技術相談料は、〇〇!
- 研究者が新しい〇〇〇を確立した
- アメリカ航空宇宙局の略称は「〇〇」
- 困ったことがあったら、〇〇〇〇〇〇してください
- 実験には予測不能な〇〇〇エラーなこともある
- 安全・〇〇〇〇な社会
- 新型コロナウイルスの〇〇〇〇接種

ヨコのカギ

- 警察は英語で「〇〇〇」
- 研究員は技術研究に〇〇があります
- IDとパスワードを使って〇〇〇〇〇〇する
- 脱〇〇〇社会にも技術貢献
- 年齢とともに〇〇が増えます
- 片目をつぶって〇〇〇〇〇〇して合図を送る
- 雪山で〇〇〇〇が起きたら大変です
- 東京都立産業技術研究センターの略称は?

わたしの名前をあててね

①	②	③
---	---	---





「海の日」ゆかりの明治丸(国の重要文化財)は、日本に現存する最古の鉄船。旧東京商船学校の練習船としても活躍しました。



練習船は、船や海洋に関する専門知識・技能を実践の場で活かせる“動くキャンパス・研究室”。海洋工学部には、海事システム工学科・海洋電子機械工学科・流通情報工学科があり、学生たちは船上での実験・演習を通じてチームワークでのコミュニケーション能力も身につけます。



東京海洋大学 越中島キャンパス

江東区越中島2-1-6



海から未来へ！
海洋国・日本を
支える総合大学

東京海洋大学は海鷹丸、神鷹丸、汐路丸の練習船を有し、海洋・海事・水産分野に関する実践教育を行う、国内唯一の海洋系総合大学。

現在、海洋工学部のある越中島キャンパスは江戸幕府の調練場に始まり、前身の東京商船学校など日本の海事とゆかりの深い場所。「海から未来へ」を合言葉に、海・船を通じた貿易・技術立国、日本を支えるプロフェッショナルなエンジニアを輩出します。

雑学クイズ

18 東京海洋大学の練習船でシップ・オブ・ザ・イヤーを受賞したのはどれ？

- ① 海鷹丸 ② 神鷹丸 ③ 汐路丸

←こたえは32ページ



「ジオ・コスモス」は10,362枚ものLEDパネルで映像を映し出す球体ディスプレイ。気象衛星から取り込むデータを基にダイナミックな雲の動きなどを鑑賞できます。

2001年に開館した日本科学未来館で得られるのは、科学知識だけではありません。ここには楽しみながら科学技術を体験することで、未来の社会に思わず想いを馳せる仕掛けが用意されています。さらに多様な経歴を持つ「科学コミュニケーター」が来館者をお出迎え。科学をわかりやすく伝えるとともに、皆さんと先端科学技術の関係を一緒に考えていく存在です。社会全体で未来を描く取り組みの発信源なのです。

日進月歩の科学技術から未来を描きたくなる参加型プラットフォーム

日本科学未来館 江東区青海2-3-6



雑学クイズ

17 未来館が開発に関わる視覚障害者を誘導するロボットはどんな形？

←こたえは32ページ



左は迫力ある全天周の立体視映像で科学や宇宙を体験できる「ドームシアターガイア」。常設展示は、AIやロボットなどの未来技術を体験するゾーンと、宇宙や生命などの世界を探究するゾーン(写真下)の2フロア。



50年のあゆみ

1973
昭和48年

江東支部設立
初代会長に布能由雄氏が就任



江東支部設立総会・祝賀会(1973年4月23日)

1974
昭和49年

会員数1,000件突破



大正記念館にて新年賀詞交歓会を開催(1978年1月18日)

1975

1976
昭和51年

江東支部設立3周年記念祝賀会举行

1977
昭和52年

江東支部設立5周年記念祝賀会举行

1979

1980

1981

会員数2,000件突破

東商ウィーク 主婦のための料理教室、
青少年の非行問題を考えたパネル討論会等を開催



大好評だった東商ウィーク 主婦のための料理教室(1982年9月17日)

1983
昭和58年

第2代会長に山岸福次郎氏が就任
江東支部設立10周年記念式典举行



街頭で区民に商工会議所業務をPR(1983年3月)



新入会員懇談会を開催(1985年8月23日)

1984

1985

1986
昭和61年

江東区産業会館完成

1987
昭和62年

第3代会長に多田公人氏が就任
「東商江東異業種交流会」発足

雑学クイズの答え

13 5,057億円

2022年の開市日数は水産物が256日、青果物が254日。1日平均で19億7,800万円もの商取引が豊洲市場で行われています。特に、水産物の取扱数量及び金額は世界最大級です。

7 建設発生土と
街路樹の枝葉

持続可能な循環型社会の実現を目指すべく、建設発生土と都内で剪定された街路樹の枝葉も土壌として再利用されました。枝葉は海の森の豊かな自然を形成する、堆肥の役割を果たしています。

1 亀出神社

甲冑や陣羽織などを身にまとった氏子たちが、亀戸香取神社の兼務社である亀出神社(大島3丁目)で「エイ、エイ、オー」の勝鬨を挙げて出発。新大橋通りから明治通りに出て、香取神社までの約2kmを練り歩きます。

14 木場公園

1976年に貯木場が新木場へ移転するまで、江戸時代から栄華を誇った木場の貯木場の跡地は木場公園になりました。なお、東京都現代美術館も貯木場の跡地に建っています。

8 約150m

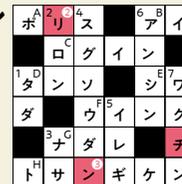
砂町水再生センターのシンボルとしても親しまれてきた赤白煙突。2023年に「さよなら赤白煙突」と称して開催された解体現場見学ツアーでは惜しまれる声が聞かれました。

2 神輿連合渡御

1909(明治42)年の本祭り、大神輿42基、小神輿12基、獅子3基、花車5本による渡御が行われました。これが大きな評判を呼び、それまで山車中心だった江戸の祭りは町神輿中心の連合渡御となり各地に広まりました。

15 チリン

チリンの由来はTokyo Metropolitan Industrial Technology Research Instituteの略称(TIRI)。



9 恐竜橋

恐竜が向かい合っているような形状をしていることから、「恐竜橋」と呼ばれています。また、「ゲートブリッジ」という名称は一般公募から選ばれたもの。東京を行き交う船舶の表玄関であることをイメージできます。

3 クレーン

1911年(明治44年)、IHIは建設用移動式クレーン2台を製造し、東京中央停車場(当時)鉄骨工事の工期を大幅に圧縮。日本で初めてクレーンを用いた鉄骨建築を実施しました。

16 約1,400万人
(コロナ禍前実績)

2日間で18万人の来場者を記録した「コミックマーケット(コミケ)101」をはじめ、東京ビッグサイトの収容数を頼りに開催される催事数は年間300件超。この催事数は来場者数ともに、国内では他の追随を許しません。

10 27日

深川車両基地では、一定のスキルを有した社員が細分化された工程ごとに徹底した製品の検査体制を確立させていますが、定期検査完了までに約1か月を要します。2022年度は年間14編成の定期検査を行いました。

4 44人

隊員は江東航空センターと多摩航空センターに、それぞれ33人と11人が分散配備されています。都内に限らず、大規模・特異災害に対する緊急消防援助隊としても活動します。

17 スーツケース

館長である全盲の浅川智恵子さんが開発を進める「AIスーツケース」は、センサーやPC、モーターなどを搭載。障害物や人を回避しながら、目的地まで安全に歩行者を誘導することができます。

11 16万台

貨物をはじめ約4万人の旅客とその車両を搬送しています(2019年実績)。中でも近年人気が高まっているのは、バイクツーリングにフェリーを利用するライダーたち。遠く離れた目的地までの移動時間に体力を温存できます。

5 警視庁イーグルス

隊員の心身の鍛錬と士気の高揚を図るとともに、都民に親しまれる機動隊づくりの一環として、1971年に警視庁第九機動隊に発足しました。チーム名の「イーグルス」は同隊のシンボルマーク(若鷲)に由来しています。

18 ③ 汐路丸

シップ・オブ・ザ・イヤー2021(日本船舶海洋工学会)の漁船・調査船部門賞を受賞した汐路丸は旧汐路丸(3代目)、旧青鷹丸(2代目)の機能を統合。異なる3字部の演習・実験に使用でき、災害支援機能も備える練習船です。

12 一級小型船舶免許と
大型自動車二種免許

水陸両用バスの運転には、全ての海域を航行できる一級小型船舶操縦免許と大型自動車で旅客運送を行うための大型自動車二種免許が必要です。お客さまに安心して観光を楽しんでいただくための安全管理と配慮も大切です。

6 シン・ゴジラ

2016年に公開された「シン・ゴジラ」の撮影に巨大モニターを備えるオペレーションルームが使用されました。このオペレーションルームは施設2階の見学窓から見学することもできます(平時)。

2006
2007
 平成19年
 2008
2009
 平成21年
2010
 平成22年
 2011
 2012
2013
 平成25年
 2014
 2015
2016
 平成28年
2017
 平成29年
2018
 平成30年
2019
 平成31年/令和1年
2020
 令和2年
2021
 令和3年6月
2022
 令和4年
2023
 令和5年

区長との懇談会開始

「キラリと光る!!地域を支える!!江東区の元気企業」実施

第6代会長に網代良太郎氏が就任

江東支部設立40周年

第7代会長に小泉宗孝氏が就任

三村会頭による江東支部訪問

女性部会 設立30周年記念式典を実施

青年部設立
 第8代会長に鈴木健之氏が就任

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、
 各種事業をオンラインで実施

パネル展「渋沢栄一と江東区のつながり」実施

BCPガイドブック発行

江東支部設立50周年



41年の歴史を持つ若手経営者会「活動委員会」を改組し、青年部を設立(2019年3月18日)



江東・北支部女性部会合同で見学会を開催(2022年11月24日)



3年ぶりに会食を交えて新年賀詞交歓会を実施(2023年1月13日)



小林新会頭と江東支部役員との懇談会を開催(2023年2月28日)

1988
 昭和63年

1989

1990

1991

1992

1993
 平成5年

1994

1995
 平成7年

1996

1997
 平成9年

1998

1999

2000

2001

2002

2003
 平成15年

2004
 平成16年

2005
 平成17年

江東支部設立15周年式典挙行
 「婦人部会(現女性部会)」発足

江東支部設立20周年記念式典挙行

第4代会長に布能民雄氏が就任

会員数4,000件突破
 こうとう利再来くらぶ創設

江東支部設立30周年記念式典挙行

第5代会長に伊藤貫造氏が就任

わっしょい江東開始



網町三井倶楽部のイベントに参加する会員企業の皆さん(1991年10月29日)



支部設立20周年記念式典での表彰式(1993年4月23日)



支部設立30周年記念事業 茅野商工会議所との交流会(2003年11月7~8日)



支部設立30周年記念事業 深川地区商売発展祈願巡り(2003年11月1日)

倉庫分科会 分科会長	小泉 泰志	第一倉庫株式会社 社長
倉庫分科会 副分科会長	山崎 元裕	株式会社ヤマタネ 代表取締役社長
	和田 康政	東京団地倉庫株式会社 代表取締役社長
	鶴元 岳志	東京倉庫協会 専務理事
	岡田 昌義	産業倉庫株式会社 取締役社長
	日高 和彦	株式会社若洲 代表取締役社長
	桶谷 賢	澁澤倉庫株式会社 東京支店営業部長
	中井 敏昭	株式会社帝国倉庫 代表取締役社長
交通運輸分科会 分科会長	高取 言彦	五興運輸株式会社 代表取締役
交通運輸分科会 副分科会長	瀬尾 君雄	共立輸送株式会社 代表取締役会長
	桐生 勇	株式会社東京桐生運輸 取締役
	成田 聖一	成田運輸株式会社 代表取締役会長
	斎藤 正雄	サイショウ・エクスプレス株式会社 取締役会長
	秋山 利裕	山三株式会社 代表取締役社長
	中村 克敏	株式会社中彦運送 代表取締役
	結城 賢進	結城運輸倉庫株式会社 代表取締役
建設・不動産分科会 分科会長	布戸 隆多	東起業株式会社 代表取締役社長
建設・不動産分科会 副分科会長	松岡 久史	株式会社竹中工務店 東京本店 東京本店長
	宍倉 榮治	宍倉建設工業株式会社 代表取締役
	山口 哲司	櫻井工業株式会社 代表取締役社長
	小倉 太郎	株式会社オグラ 代表取締役
木材分科会 分科会長	細田 悌治	細田木材工業株式会社 代表取締役会長
木材分科会 副分科会長	中谷 祐介	東京銘木協同組合 理事長
	内山 信博	大洋製材工業株式会社 代表取締役
	亀井 吉隆	株式会社亀井商店 代表取締役
	庄司 良雄	庄司木材株式会社 代表取締役
	長谷川 泰治	東京原木協同組合 理事
	志賀 忠一	株式会社志賀商事 代表取締役社長
	豊田 信一	豊田木材株式会社 代表取締役
サービス・情報産業分科会 分科会長	武藤 猛	株式会社京葉管理工業 代表取締役
サービス・情報産業分科会 副分科会長	畑中 直子	東日本電信電話株式会社 東京事業部 東京東支店 支店長
	松本 光史	東洋リネンサプライ株式会社 取締役会長
	井守 正樹	東京ベイネットワーク株式会社 代表取締役社長
	小嶋 映治	レインボータウンエフエム放送株式会社 代表取締役
	益子 純子	株式会社藤江 代表取締役社長
	川北 孝	株式会社善興社 代表取締役会長
	小泉 博久	株式会社日冠 代表取締役社長
	小野 綾子	株式会社プライズコミュニケーション 代表取締役

江東支部を支える方々

[役員]

2023年10月1日現在

会長	鈴木 健之	鈴直商事株式会社 代表取締役
副会長	市川 英治	江戸川木材工業株式会社 取締役会長
	渡辺 哲三	豊洲商友会協同組合 理事長
	野田 浩一	野田珺瑯株式会社 代表取締役会長
	鎮目 隆雄	株式会社フコックス 代表取締役社長
	新井 英希	株式会社木場リサイクル 代表取締役社長
	湯浅 博	東京東信用金庫 常勤理事
	徳倉 基宏	株式会社徳倉 代表取締役社長
	峯島 一郎	丸八倉庫株式会社 代表取締役社長
	藤井 達也	大蔵工業株式会社 代表取締役
小売業分科会 分科会長	渡辺 哲三	豊洲商友会協同組合 理事長
小売業分科会 副分科会長	安田 貢記	株式会社アトレ亀戸店 店長
	石黒 利雄	砂町銀座商店街振興組合 理事長
	塚本 光伸	株式会社升本フーズ 取締役会長
	岡本 隆一	二葉商事株式会社 代表取締役社長
	宮崎 文幸	株式会社宮崎商店 代表取締役
	本間 修	森下商店街振興組合 理事長
卸売業分科会 分科会長	竹口 友章	株式会社ちくま食品 代表取締役
卸売業分科会 副分科会長	池田 剛史	株式会社伊藤園 東京東部支店 支店長
	下田 裕治	株式会社シモダ 代表取締役社長
工業分科会 分科会長	横井 太郎	横井醸造工業株式会社 代表取締役社長
工業分科会 副分科会長	澤田 大輝	東京電力パワーグリッド株式会社 江東支社 支社長
	伊藤 あすか	東京ガス株式会社 東京東支店 支店長
	嘉悦 崇	株式会社土井製作所 代表取締役社長
	森 祐起	株式会社フジクラ 執行役員 コーポレートスタッフ部門長兼人事・総務部長
	前橋 義幸	ニチレイマグネット株式会社 東京支店 専務取締役
金融分科会 分科会長	小林 雅裕	大東京信用組合 亀戸支店 支店長
金融分科会 副分科会長	大和田 浩明	東京ベイ信用金庫 城東営業部 城東営業部長
	松下 昌夫	大和証券株式会社 亀戸支店 支店長
	佐々木 亮輔	株式会社商工組合中央金庫 深川支店 支店長
	澤田 佳之	アクサ生命保険株式会社 日本橋営業所 営業所長
	荒川 一志	株式会社日本政策金融公庫 江東支店 支店長兼国民生活事業統轄
	朝日 信行	第一勧業信用組合 千田町支店 支店長

交通運輸分科会 評議員	横山 秀一	日本図書輸送株式会社 代表取締役社長
	高橋 伸明	有限会社丸橋運送店 代表取締役
	大木 健司	新大橋運輸株式会社 代表取締役
	樋口 貴彦	東京物流株式会社 代表取締役
	尾崎 秀仁	株式会社オーエストランス 代表取締役
	原 玲子	日本興運株式会社 本社 代表取締役社長
	長谷川 哲彦	株式会社ヤマタネロジスティクス 代表取締役社長
	野中 直子	正光運輸株式会社 代表取締役
	北御門 由美	GK財務管理株式会社 代表取締役

建設・不動産分科会 評議員	大出 彰	大出産業株式会社 代表取締役会長
	玉井 昭治	五栄土木株式会社 代表取締役
	伊藤 三千男	城東産業株式会社 取締役会長
	薄倉 雄一郎	ウスクラ建設株式会社 代表取締役
	名倉 英樹	丸三建設工業株式会社 代表取締役
	平手 克治	有限会社丸重屋 代表取締役社長
	成田 洋子	大雄開発株式会社 代表取締役社長
	坂田 和哉	アーバンシステム管理株式会社 代表取締役社長
	中藤 順也	株式会社久米設計 設計本部 第4建築設計室 部長

木材分科会 評議員	重内 光夫	安政木材株式会社 相談役
	伊東 龍一	平住製材工業株式会社 代表取締役社長
	網中 勝	網中木材株式会社 代表取締役社長
	氏橋 武史	株式会社氏橋商店 代表取締役
	森林 慎介	森林商事株式会社 代表取締役
	西林 長太郎	株式会社西林 代表取締役
	大堀 雅之	菱大木材株式会社 代表取締役
	名倉 直利	愛三木材株式会社 代表取締役社長
	向殿 長敏	秋川木材株式会社 代表取締役

サービス・情報産業分科会 評議員	柳本 修平	東京フットボールクラブ株式会社 常務取締役
	須藤 貢一	司法書士須藤貢一事務所 所長
	塚本 一夫	有限会社両高セミナー 代表取締役塾長
	小川 隆治	日本郵便株式会社 新東京郵便局 局長
	清野 吉雄	日本公認会計士協会東京会江東会 会長
	杉田 幸子	一般社団法人江東区観光協会 事務局長
	伊藤 裕之	有限会社ダイキ 取締役社長
	齋賀 敦子	齋賀会計事務所 所長
	伊東 衣代	株式会社三恵 代表取締役
	駒崎 由美子	株式会社カプラス 代表取締役
	江馬 健二	株式会社イーエムエー 代表取締役
	志田 明子	一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 代表理事・楽団長
	赤羽 真聡	株式会社ハウスボートクラブ 代表取締役社長
	岡山 嬢嬢	株式会社FlyNexia 代表取締役
	鶴澤 明	株式会社ユーリンク 会長
	戸恒 義明	一般財団法人日本スポーツ推進機構 事務局長
	中森 正樹	株式会社ENSOU 代表取締役
	後藤 英逸	株式会社MONO 代表取締役
	石元 龍太郎	株式会社東京ユナイテッドバスケットボールクラブ 代表取締役社長

サービス・情報産業分科会 副分科会長	正岡 文人	FP・行政書士事務所稲門まさおか総合支援 代表
	小坂 俊介	東京総合法律事務所 代表パートナー
	石倉 孝志	有限会社煉瓦亭 取締役社長
	大島 信豊	鹿島東京開発株式会社 代表取締役社長

[評議員]

小売業分科会 評議員	大金 和夫	株式会社アブアブ赤礼堂 深川店 店長
	田伏 浩二	株式会社イトーヨーカ堂 木場店 店長
	古賀 伸宏	三菱地所プロパティマネジメント株式会社 南砂町ショッピングセンターSUNAMO 館長
	行木 恭子	テイエヌネット株式会社 代表取締役
	吉村 政明	亀戸十三間通商店街振興組合 理事長
	平澤 清	有限会社モンレーヴ 代表取締役社長
	川口 賢一郎	有限会社川留 代表取締役

卸売業分科会 評議員	中村 秀二	株式会社リテック 代表取締役
	藤井 肇	オリジナル株式会社 代表取締役
	時松 浩	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 代表取締役社長
	菅澤 運一	山屋食品株式会社 代表取締役
	亀谷 直秀	東京魚市場卸協同組合 副理事長
	山本 春美	株式会社辰巳商会 代表取締役
	吉村 一浩	日本たばこ産業株式会社 東京支社 江東区 担当部長

工業分科会 評議員	鈴木 証批左	鈴木機工株式会社 代表取締役
	加勢田 喜代繁	株式会社IHI 理事総務部長
	柳川 徹	トーヨーカネット株式会社 取締役会長
	田丸 厚子	株式会社田丸製作所 専務取締役
	八田 俊之	バラマウントベッドホールディングス株式会社 取締役
	中村 雅一	株式会社石川工場 代表取締役
	丸山 智正	株式会社丸山製作所 代表取締役社長

金融分科会 評議員	金田 隆夫	東京東信用金庫 江東中央支店 支店長
	小室 夫佐裕	株式会社きらぼし銀行 深川支店 支店長
	伊藤 知行	損害保険ジャパン株式会社 東東京支店 東東京第三支社 支社長
	高橋 裕	江東信用組合 洲崎支店 支店長
	曾木 真一	城北信用金庫 深川支店 支店長
	早坂 均	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 東京東支店 東京東第一支社 支社長
	印出 尚司	朝日信用金庫 猿江支店 支店長
	大原 英明	株式会社りそな銀行 亀戸支店 支店長
	後藤 勉	メットライフ生命保険株式会社 晴海通エイジェンシーオフィス シニアエキスパートコンサルタント
	岡本 直也	三井住友海上火災保険株式会社 東京東支店 第三支社 支社長

倉庫分科会 評議員	江坂 規幸	テツソー物流株式会社 代表取締役社長
	山崎 健太郎	山崎商事株式会社 取締役社長
	佐志田 雄太	佐志田倉庫株式会社 代表取締役社長
	西村 功	行政書士法人西村事務所 代表社員
	山田 邦博	千住倉庫株式会社 代表取締役社長

交通運輸分科会 評議員	永峯 豊子	八洲自動車株式会社 代表取締役社長
	堀江 浩太	株式会社ニヤクコーポレーション 代表取締役社長